

歯科受診の準備

ダウン症のある人は、歯科治療において特別なケアを必要とすることがあります。この資料では、歯科に行くための準備、適切な歯医者の見つけ方、そして自宅での歯の手入れ方法について説明します。

なぜ歯科治療が大切なのですか？

ダウン症のある人には、多くの理由から専門的な歯科治療が必要です。1つの理由は、歯周病や齲歯になるリスクが高いことです。ダウン症のある人は通常、1歳くらいまで最初の歯が生えません。乳歯が生え揃うのは、4～5歳になってからかもしれません。また、ダウン症のある人の歯は、他の人の歯とは違って見えことがあります。反対咬合（上の歯が下の歯の内側にある状態）、離開咬合（上の歯と下の歯が接触していない状態）、叢生（そうせい）、欠歯、過剰歯などです。これらは犬歯に影響を与え、犬歯が歯ぐきから生えてこないことや歯ぎしりの原因になることもあります。

歯医者に行くときは、どのように準備したらよいですか？

- 受診前に、病状や質問、心配事について相談内容を準備しておくこと。
- 受診前に、鎮静剤（子どもを落ち着かせる特別な薬）が必要かどうかをたずねること。鎮静剤には、処方薬のような軽いものから、麻酔（眠らせる）のようなものまであります。
- 心臓に病気がある場合は、診察前に抗生素を服用する必要があるかどうかたずねること。

いつ歯医者を探せばよいですか？

最初の歯が生えてから6ヵ月後、または1歳になった後のどちらか早い時期に歯医者を探しましょう。

自分に合った歯医者はどこにあるのでしょうか？

あなたが可能な限り最高の歯科治療を受けることができるよう、適切な歯医者を見つけることが重要です。ダウン症のある人や他の健康状態に特別な配慮が必要な方への治療のトレーニングをつんでいる歯医者（障がい児者歯科）を見つけることができます。お住まいの地域の病院を調べてください。

歯と歯ぐきの健康を保つために、家庭でできることはありますか？

適切な歯医者を見つけることは重要であり、将来的な歯の問題を予防するのに役立ちます。

健康な歯と歯ぐきのためには、幼少期から歯の問題を予防することが大切です。しかし、どのような歯科治療が必要かは、年齢によって異なります。

- 1歳未満またはまだ歯がない場合は、柔らかい布で1日2回、歯ぐきを拭いてあげてください。
- 2歳の子どもや初めて歯が生えた子どもは、柔らかい歯ブラシとフッ素入りの歯磨き粉で1日2回歯を磨く。歯磨き粉の量は、米粒大が目安です。
- 2歳から6歳の場合は、柔らかい歯ブラシとフッ素入りの歯磨き粉で1日2回、歯を磨く。歯磨き粉の量は小豆大が目安です。歯磨き粉を吐き出した後は、口をゆすがないでください。
- 6歳以上のお子さんの場合は、柔らかい歯ブラシとフッ素入りの歯磨き粉で1日2回歯磨きをしてください。歯磨き粉の量は、小豆大にしましょう。

私は、特定のデンタルケア製品が他の製品よりも好きです。何を使えばよいですか？

デンタルケア製品によって、好きなものが違うかもしれません。多くの選択肢の中から選ぶことができます。それぞれ違うタイプの製品を以下に紹介します。

- 歯磨き粉を嫌がる場合は、フッ素入りのマウスウォッシュを使用する。
- 普通のフロスを使うのが苦手だったり、嫌がったりする場合は、プラスチック製のフロスを使う。
- 普通の歯ブラシの代わりに電動歯ブラシを使う。



佑 -YOU-

マサチューセッツ総合小児病院の許可のもと、「佑」（代表：植田紀美子 関西大学 / はしもとクリニック）が翻訳し
和泉出版印刷株式会社が作成しました。日本語訳についてのお問い合わせ info@you-3c.com